

子どもたちが“やまがた伝統野菜”について学びます！ 10月3日 山形市で「悪戸いも」農業体験を実施

イオン東北は10月3日（土）、農事組合法人 村木沢あじさい営農組合（山形市反町、代表理事：笹原 秀一）ご協力のもと、イオン チアーズクラブのメンバーが山形市でやまがた伝統野菜「悪戸いも」について学ぶ農業体験を実施します。



悪戸いも



昨年10月の「悪戸いも」農業体験の様子

「イオン チアーズクラブ」は、公益財団法人イオンワンパーセントクラブの「青少年の健全な育成」事業の1つで、小中学生を中心とした子どもたちが、全国のイオングループ等の店舗を活動拠点として、環境や社会貢献をテーマに様々な体験学習を行い、楽しく学び、考える活動を行っています。

イオン東北はこの活動の一環として、農事組合法人 村木沢あじさい営農組合ご協力のもと、2024年からやまがた伝統野菜「悪戸いも」について学ぶ農業体験を実施しており、今回で3回目となります。イオン チアーズクラブメンバーは、生産者から野菜をつくる過程やおいしさへのこだわりについて学ぶとともに、悪戸いもの収穫を体験し、自分たちが住んでいる地域の農業や環境について楽しみながら理解を深めます。

イオン東北はこれからも、地域の皆さまとともに、次代を担う子どもたちの健やかな成長の一助となるべく、積極的な支援を行ってまいります。

【やまがた伝統野菜「悪戸いも」農業体験の概要】

日 時：2026年10月3日（土）10:00～11:30

体験学習地：悪戸いも圃場（山形県山形市阿弥陀61）

主 催：イオン東北株式会社

協 力：農事組合法人 村木沢あじさい営農組合

参 加 者：イオン チアーズクラブ天童、イオン チアーズクラブ東根、
イオン チアーズクラブ山形北、イオン チアーズクラブ山形南、
イオン チアーズクラブ米沢 合計28名（予定：小学1年生から6年生の子どもたち）

主な内容：生産者による「悪戸いも」についての説明、収穫体験

ご参考

■ 公益財団法人イオンワンパーセントクラブ

公益財団法人イオンワンパーセントクラブは、「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する」というイオングループの基本理念を具体的な行動に移し、社会的責任を果たすことを目的に、1990年に設立されました。以来35年以上にわたり、お客さまにイオングループをご利用いただいて生まれた利益の1%相当額をもとに、「青少年の健全な育成」「諸外国との友好親善」「地域社会の発展への貢献」「災害復興支援」を主な事業領域とし、環境・社会貢献活動に取り組んでいます。

※公益財団法人イオンワンパーセントクラブの詳細は、ホームページ（<https://aeon1p.or.jp/1p/>）をご覧ください。

■ やまがた伝統野菜

やまがた伝統野菜は、地域の皆さまが気候、風土、歴史、資源など地域の特色を活かしながら代々守り受け継いできたもので、下記4項目を満たすものとされています。2026年2月現在で「悪戸いも」など87品目が挙げられています。

- ① その地域で栽培・利用されてきた固有の野菜、穀物、果樹など
- ② 自家採種により品種、系統が維持されてきたもの
- ③ 年代は概ね1945年以前から栽培されているもの
- ④ 現在、種子や苗が手に入るもの

※やまがた伝統野菜の詳細は、ホームページ（<https://agrin.jp/crop/yasai/tradition/index.html>）をご覧ください。

◆ 悪戸いもについて

山形市西部の悪戸地区で昔から栽培されているさといもで、普通のさといもより粘りが強く、長時間煮込んでも煮崩れしにくいです。収穫時期は10月中旬～12月上旬で、普通の品種と比べて収穫時期が遅いのも特長です。

